



ジスバル®カプセル 40 mgについて

今回は先の薬事審議委員会で仮採用となりました遅発性ジスキネジア治療薬の新薬であるジスバル®カプセル 40 mgにつきまして薬品情報をお知らせいたします。

遅発性ジスキネジアとは？

遅発性ジスキネジアとは抗精神病薬などを長期間使用していると発現してくる、自分の意思とは無関係に身体が勝手に動いてしまう不随意運動症状の一つです。遅発性ジスキネジアの症状は、「繰り返し唇をすぼめる」「舌を左右に動かす」「口をもぐもぐさせる」「口を突き出す」「歯を食いしばっているような動作」「目を閉じるとなかなか開かずしわを寄せている」などの口周囲の症状が多いですが、「勝手に手が動いてしまう」「足が動いてしまっ歩きにくい」「手に力が入って抜けない」「足が突っ張って歩きにくい」「筋肉が突っ張って姿勢が変になってしまう」、など手足に起こることもあります。

これらの症状の一部はジストニアといって筋肉の異常な突っ張りを起こし姿勢が変化してしまうような症状も含まれます。ジストニアがジスキネジアの症状の一部として起こる場合もありますし、ジストニアがむしろ目立って出てくることもあります。

さらに患者さんによっては、じっと坐っていられず絶えず足や手を動かし、足を組んだりはずしたり・手の回内回外（ドアノブを回すような動き）を繰り返したり・椅子から立ったり座ったり、など同じ動きを絶えず繰り返さずにはいられないという症状（アカシジア）が同時に出ていることがあります。このようにジスキネジアの診断は複雑である場合が多いので、不随意運動がジスキネジアかどうかを判定するには不随意運動の判定に熟練した医師の診察を要することもあります。

* 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA；Pharmaceuticals and Medical Devices Agency）の重篤副作用疾患別対応マニュアル・ジスキネジア・平成21年5月（令和4年2月改定）厚生労働省<<https://www.pmda.go.jp/files/000245263.pdf>>から引用

【販売名】 ジスバル®カプセル 40mg（ヤンセンファーマ(株)/田辺三菱製薬株式会社）

【一般名】 バルベナジントシル酸塩

【薬価基準収載日】 2022年5月25日（水）

【新発売日】 2022年6月1日（水）

【薬価】 40mg 1カプセル 2,331.20円

【効能又は効果に関連する注意】

遅発性ジスキネジアと診断された患者※に使用すること。

※米国精神医学会の「精神疾患の診断・統計マニュアル第5版(DSM-5;Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition)」及び米国精神医学会の「統合失調症治療ガイドライン第3版」を参考にすること。

【用法及び用量】

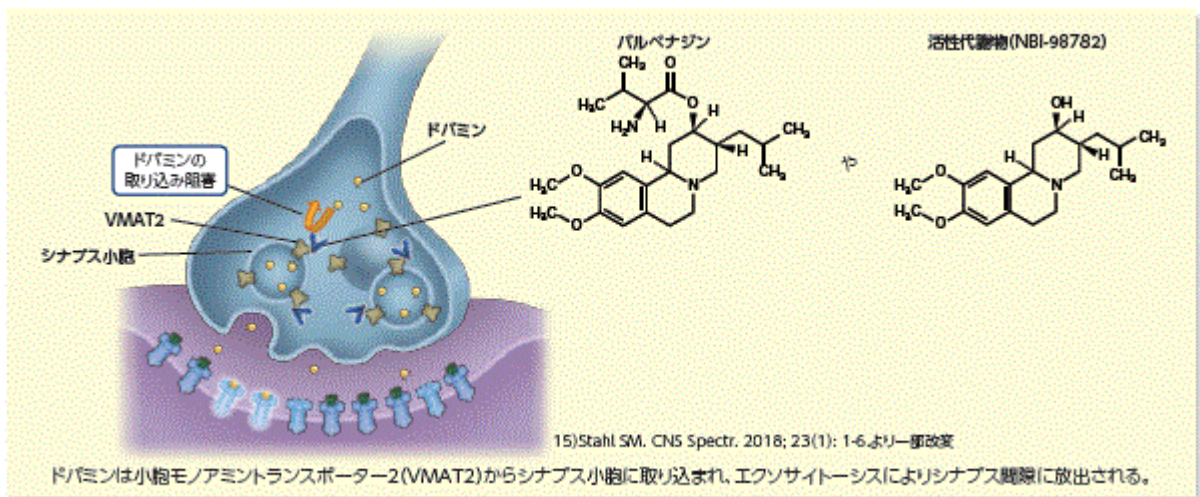
通常、成人にはバルベナジンとして1日1回40mgを経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日1回80mgを超えないこととする。

【用法及び用量に関連する注意】

1日1回40mgを1週間以上投与し、忍容性が確認され、効果不十分な場合にのみ増量を検討すること。また、本剤の投与量は必要最小限となるよう、患者ごとに慎重に観察しながら調節すること。

【作用機序】

神経節におけるドーパミンの調節(放出抑制)を行うことにより、ドーパミンによる過剰反応による不随運動を軽減させていると考えられている



ジスバル®カプセル 40mg 適正使用ガイドより抜粋

抗精神病薬や抗てんかん薬等の長期間の服用によって発現する遅発性ジスキネジアは今日まで有効な治療薬がなく、原因薬の中止・変更や対処療法に限られていました。

しかしながら、本薬剤の登場により遅発性ジスキネジアに対しての治療が適切に行われることにより、患者さんの生活向上に期待できるものと思われます。

★編集後記

With コロナという状況に世の中なっており、新規感染者数も減少傾向にあります。

また、高齢者等への4回目のワクチン接種も進められております。

しかしながら、油断大敵です。感染予防の継続をお願いしたいと思います。

